

全国協議会 ニュース

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:野村 正満
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

理事等の 立候補受付開始 第1回役員選挙を告示

第1回役員選挙のための第1回選挙告示

2001年度および2002年度役員を選考を行います。「役員選考規程」並びに「選挙細則」に基づき下記の通り告示します。

2000年10月29日
選挙管理委員長 渡辺孝一

1. 選挙管理委員会
委員長:渡辺孝一
副委員長:斉宮秀親、三田村真
委員:小野喜代人、若木換、鈴木紀子
2. 役員任期
2001年7月1日～2003年6月30日
3. 役員の数
会長:1名、副会長:3名、理事:22名、監事:3名
※理事のうち正会員の推薦を要する理事14名、推薦を要しない公募による理事8名
●推薦を要する理事の地区定数
北海道:1名、東北:2名、関東甲信越:3名、東海北陸:2名、近畿:2名、中四国:2名、九州:2名(計14名)
4. 選挙日程
●第1回告示:2000年10月29日
●立候補受付開始、届出書等配布
5. 立候補者への注意事項
(1) 必ず所定の届出書に記入して提出して下さい。届出書は事務局に請求するか、ホームページからダウンロードして下さい。
(2) 届出書に自署押印の上、推薦書、立候補者の顔写真を同封の上、必ず簡易書留で郵送して下さい。
(3) 立候補者に必要な推薦者の数(団体)は、会長7名以上、副会長5名以上、監事3名以上、推薦理事2名以上です。但し、公募理事は推薦者は不要です。
(4) 推薦書は、所定の用紙に推薦団体に記入してもらって下さい。用紙は事務局に請求するか、ホームページからダウンロードして下さい。

ブロック別セミナー各地で開催

先月号で紹介した関東地区ブロックに続いて、各地域でブロック別のボランティアセミナーが開催されています。「東海・関西地区」と「九州地区」そして「北海道地区」ブロックからの報告が届いています。

【九州】

●楽しく実りあるセミナー
九州地区ブロックセミナーを9月15日博多の都久志会館で行いました。
福岡は、北村・徳永・田中・徳部・緒方・入口・守田、他県からは沖縄・上江州、鹿児島・

牧園、大分・宮田、長崎・荒木、佐賀・幡持、熊本・坂田の各地区代表が出席しました。各地区の今後の登録会の予定などの報告を行ない、沖縄の献血並行ドナー登録の詳細を上江州さんに話していただきました。献血ルームでは、リピーターが多く、移動献血車でのドナー登録が新たな登録者の増加に有効であることを再認識しました。沖縄の最近のドナー登録数を見れば一目瞭然です。血液センターの協力が得られて、日本全国で移動献血車でのドナー登録ができれば、30万人の達成は早いと思

ます。
かわい熊のぬいぐるみの「マロー」にパンク関係の一冊の本をつけて人から人へ渡して旅をさせる「マローの一人旅」の企画が緒方さんより提案され、始めることになりました。ブロックセミナーの様子は、九州骨髄バンクたよりやhttp://www.marrow.or.jp/fukukoka/で報告されます。楽しい企画ができました。(坂田)

●明日からの活動への意欲が
9月30日・10月1日、岐阜県



大垣市において、ブロックセミナーが開催されました。近隣9県より39名のボランティアが参加して、にぎやかなセミナーとなりました。
1日目は、大垣博における「いのちのあさがお」の取り組みについての話や柿の木プロジェクトの講演等がありました。午後からは各地からの活動報告に続き、ボランティアの悩み、日赤の方向転換とキャンペーン登録についての取り組み等が議題に出され、活発な意見交換がなされました。地元ボランティアの立場としてまだまだPR不足を感じていることや、ボランティアを増やすための苦労話等も意見として出されました。
翌日は大垣博を参拝しました。戦国関ヶ原の舞台に「いのちのあさがお」が並び、武将たちの足跡をたどる命への想いが重なり、命の尊さをあさがおが訴えていました。あさがおの種子は福島へと引き継がれ、ブロックセミナーは終了しました。
出逢いと触れあひの中で明日からの活動への意欲を新たにしたい2日間でした。(庭野光世)

10月21日、札幌市にて北海道骨髄バンク推進協会主催の、ドナー集団登録のボランティア説明員養成研修会が財団の松本裕子氏を迎えて開かれた。札幌・旭川・北見・帯広の各支部から18名、苫小牧・釧路・函館の各会からは9名の参加者。翌日の毎日新聞社主催の小児がん征圧キャンペーンでの実地研修を控えているので、より具体的な細かい研修、実習が行われた。住所変更通知の徹底というの理由として大切なことだと感じた。また、一般に登録と提供の混同がある一方で、我々も登録説明とコーディネートは異なる

のの違いに留意すること、説明員が話し込んで登録の流れが妨げられることにも合点がいった。この研修のなかで、登録者が家族の同意を得るのが後日とすれば、その説明材料、家族を説得するツールが必要であり、それはチャットとは記述との方法が違っていきべきではないかと考えた。
●生きる！小児がん征圧キャンペーン
自らの闘病体験を通じて小児がん患児の姿を知った渡哲也ら石原プロモーションが協力し、毎日新聞が主催するチャリティコンサートが10月22日札幌市で開かれ、北海道骨髄バンク推進協会も説明員養成の実地研修として、集団登録会を開催した。コンサートでは病を克服した子供たちが招かれ、石原軍団と一緒に支援を呼びかけた。骨髄バンクは場内での紹介とともに翌日の毎日新聞版でも取り上げられた。
登録者は15名、観客層が中高年に片寄っていたこと、受付時間が開演前の混雑時に限られていたことからすれば、事前告知のない割には、かなりの好成績と考えられる。中に車椅子の方からの強い申し出があり、先天的な障害で輸血歴はないことから登録をお願いした。

●ドナー登録会説明員養成研修会
ボランティアスタッフは交替で、呼びかけ、献血車への誘導とともに半数以上が説明を体験し、今後の集団登録会開催に備えている。(加藤弦)

全国協議会は加盟51団体に

全国骨髄バンク推進連絡協議会の会員は各地で草の根運動を展開しているボランティア団体です。その会員(加盟)団体も新たに京都と姫路、さらに奈良が加わり、総数で会員は51団体となりました。新しい仲間としての京都の募る会と姫路センターの代表からメッセージが届いています。

京都骨髄ドナーを募る会
代表・石居光夫



私たちのグループは、個人を支援するものとして始まりました。しかしそれだけでは個人を支援するだけではだめで、だんだんと広がって行きました。骨髄バンクが始まる以前からです。しかもそれは連帯の中で生かされてきました。一面では緩やかな、しかし一面では厳しいつながりを形成して来たかと思えます。このように病氣と何らかの関わりをもった方が継続的に活動を続けて来ましたが、患者の家族の会を開くと、そこでの話は極めてシビアなものがありました。今後とも自由な、しかも責任ある活動の続けることを願っています。

兵庫骨髄バンク
ボランティアセンター
(姫路地区骨髄バンク推進センター)
代表 澤山昇

骨髄バンクNOW

●骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●骨髄採取後に「大量内出血による後腹膜血腫形成」という健康被害が発生
財団ではこの事態を重視し、原因が明らかになり対策が講じられるまで、当該施設での骨髄採取の停止を通知しました。また善意から提供されているドナーの方々の安全を確保するために、全国116の採取認定施設に対し、「骨髄穿刺の部位と深さに十分注意するよう」緊急安全情報を出しました。今後も、ドナーにおきた健康被害情報については、早期の情報開示に努めてまいります。今回の事例発生で、ドナー登録者の方々とご家族、さらには一般の方々に不安を与えたことを重大に認識し、今後、原因究明と再発防止策の徹底のため全力を上げることが、社会からの信頼回復になるものと思います。

●緊急コーディネーターが成果を発揮。開始から約3カ月以内で移植が完了
9月7日に記者発表いたしました、「ドナーの貧血の見逃しにより、前処置開始後に移植が中止となった患者さん」については、緊急コーディネーターにより、今月、骨髄移植が無事終了しました。中止の後、他ドナーとのコーディネート再開から3カ月以内で完了することができました。

●「患者さんと主治医のためのパンフレット」を発行
財団医療委員会の編集による「患者さんと主治医のため

●移植3000例突破全国キャンペーンを実施します
財団設立より9年を目前に控える11月中旬頃、移植累計が3000例に達する見込みとなりました。善意のドナーの皆さまからの「命の贈りもの」移植3000例達成を記念して、財団では、この事業に関わられたすべての皆さまの声を公募することになりました。ふるってご応募をお願いします。また、財団普及広報委員会では、「3000例突破記念、全国一斉街頭啓発キャンペーン」を、12月3日(日)に行うことにしました。毎年12月は、骨髄バンク推進月間にあたります。全国一斉に街頭キャンペーンを行うことで、低迷傾向にあるドナー登録者の拡大への大きな契機になることが期待されます。さらに、各都道府県等に、庁舎でのキャンペーン登録会の開催要請等をする予定です。ご協力を賜りますようお願いいたします。

●チャンスの巻末申込用紙は、廃止されました
前号でお知らせしたとおり、10月16日より、ドナー登録のしおり「チャンス」巻末の申込用紙は廃止することになりました。新規印刷分より、関係ページを一部改訂のうえ、登録希望用紙を削除いたしました。現在流通している「チャンス」についても、引き続き活用していただけますので、よろしく願います。

●「患者さんと主治医のためのパンフレット」が完成しました。白血病などの難治性血液疾患と診断された、骨髄移植・造血幹細胞移植を必要とされる患者さんのために、病氣と治療法に関する最近の動向をわかりやすく解説したパンフレットです。患者さんが主治医の先生と一緒に読みいただき、ご自身にも最もふさわしい治療法を選択していただきたいと願って発行されました。患者さんが本当に知りたいことをできるだけ事実に基づきわかりやすく解説し、データも最新のものを紹介していきます。今後も随時改訂の予定です。お申込みは財団ファックス 03-3355-5090に住所、氏名、電話番号、部数、関係者区分(患者、患者家族、医療関係、支援団体、バンクサポーター、その他)を明記のうえお申込み下さい。フリーダイヤル0120-377-465でも受け付けます。

ておりました。今年に入り行政、日赤の協働体制により、今まで以上に集団登録の可能性を与えられ、多くの方々が呼びかけが可能になりました。このことは広報活動をそのまま登録に結びつけられるということでもボランティア

IA団体にとっては待ちに待った朗報です。まだまだ乗り越えなくてはならない問題がたくさんありますが、骨髄バンク支援の輪をさらに広げていければと考えております。

小さな群れではありますが、今後も共に助け合える社会の実現を目指して、皆様と共に骨髄バンク活動の充実を図っていきたく考えております。

心からのご寄付を ありがとうございました

9月21日～10月23日

山形庶民信用組合 西支店	現金	17,760円
鈴木すゝ	現金	5,000円
大西みどり	切手	11,586円
服部信利	現金	30,000円
杉原美樹	現金	5,000円
浅井みさ子	現金	1,000円
切明蹊	現金	20,000円
中村和代	切手	135円
鈴木純子	現金	1,340円
取手中央ライオンズクラブ	現金	100,000円
一宮ライオンズクラブ	現金	170,000円

●佐藤さち子患者支援基金

切明蹊	現金	20,000円
北川誠	現金	50,000円
佐藤直哉	現金	3,000円
極真空手チャリティ募金	現金	24,718円

●白血病患者支援基金

向井利二	現金	4,094円 (敬称略)
------	----	-----------------

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会



岩手

コンサート＆
あやちゃん展・登録会

去る9月23日岩手県 大船渡市で大船渡地域骨髄バンク推進ハートトークコンサートが開かれました。

骨髄バンクについて、体験談を交えていっしょに考えましようとして菊田としえさん・骨髄バンク

石川

12名登録
献血並行方式で

石川県松任市で開催された

「あやちゃんの贈り物展」に合わせ集団登録会を開催しました。トークショーには約150人の方が熱心に耳を傾けていた

だき、あわせて青年会議所の方々や一般の方が22名登録して

去る10月1日、宇都宮市総合コミュニティセンターにて3

栃木

医療講演会＆
患者相談会

骨髄バンクの名前は知られてきているようなのですが、移植の内容について知らない人が多く、手術という表現に不安を感じて登録をためらうと聞いています

(はとの会)

京都

舞鶴で55名の登録

この計画は昨年5月頃に登録会を実施したい、という希望の形できりんの会のメンバーの中

加者(80名)が熱心に聞き入る会となりました。医療講演では、血液内科医師2名から病態と治療法の選択に関して、小児科医師からは患児のメンタルケアや

(栗本孝雄)

和歌山

医療講演会・
ドナー登録会

新しい骨髄バンクボランティアの種が、和歌山県で芽を吹いて7年。たくさんのお出で、喜び、涙がありました

この日は、和歌山県庁担当者を始め、関係機関のみなさん、血液担当の医師、バンクボランティア等関係者みんなで、力を合わせた満足感で一杯でした

この日は、和歌山県庁担当者を始め、関係機関のみなさん、血液担当の医師、バンクボランティア等関係者みんなで、力を合わせた満足感で一杯でした

(ひこばえ 北山瑛子)

山口

専門学校の
登録で42名

10月10日(火) 12時40分～15時30分に、山口県岩国市の岩国YMCA国際医療福祉専門学校を会場に、山口県岩国健康福祉センター主催でキャンペーン登録会が開催されました

通常は保健所で行なっている登録受付ですが、今回はその場所を市内の専門学校に移しての試みでし

各地の たより

各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

ドナちゃん⑤ 大川はるみ



「健康フェスタ」に骨髄バンクのドナー登録会を行いました。前もってピラ配りや広報誌に載せて広報したので、お二人の方の予約がありました

加者(80名)が熱心に聞き入る会となりました。医療講演では、血液内科医師2名から病態と治療法の選択に関して、小児科医師からは患児のメンタルケアや

健康所・日赤・ライオンズ等々話し合い、やっと10月15日に実現できることになりました

骨髄移植体験を福岡在住の永島隼子さんが骨髄移植の体験を語りました



開会時から最前列も満員

登録したいけれど時間がなかった等登録したい人が待っていたのではと考えられます。今後は登録の機会を多くつくりたいと考えております



10周年記念事業への
協賛金ありがとうございます

た。当日は、岩国環境保健所長をはじめ、山口県血液センター、岩国YMCA、山口の会岩国支部から登録会スタッフが参加し、当初予想していた倍以上となる42名もの登録者を迎えることができました。学生や教職員、

骨髄バンクを支援するやまがたの会
福川ライオンズクラブ

地元企業で働く人たちが広島県大竹市からも登録に来られました。今後、市内の事業所などへの出張登録会、巡回登録会へと取り組みを広げていく大きな足がかりができた一日でした。

(林 浩文)

医療講演会＆相談会のお知らせ 再生つばさの会

四国地区医療講演会
日時 平成12年11月18日(土) 12:30～15:30
場所 高松教育会館ミュージックホール2F 第一会議室
講師 小島勢二先生/原雅道先生

東北地区医療講演会
日時 平成12年11月25日(土) 13:00～16:30
場所 仙台市戦災復興記念会館
講師 今泉益栄先生/目黒邦昭先生/土屋滋先生/北村聖先生

GET POWER! Regain!
肉体的疲労時の栄養補給、滋養強壮に
J-リゲイン 100ml・194円 / リゲインA 50ml・500円 / リゲイン 50ml・291円
価格はすべてメーカー希望小売価格(本体価格) http://www.sankyo.co.jp/healthcare/